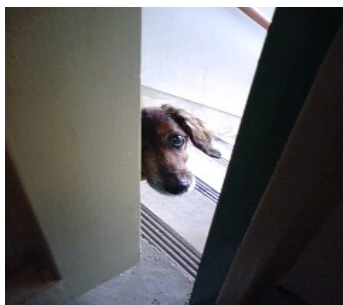


迷子になるのはどんな時？

迷子には一瞬でなってしまいます。
でも「どんな時に迷子になりやすいのか？」を知っていれば、
「こんな時は気をつけよう」と注意できます。

家から



宅配便でハンコを取ろうとした際に、足元をスルリ…
ゴミ出しに行った時、ドアが開いていて…
車へ荷物の積み込み中、玄関が開けっ放し…

最も多いのが「閉めたつもり」です。
玄関に直面している場所にはペットゲートを設置したり、
ドアクローザーをつけるのも効果的です。
人が犬に注意できない時には、ケージに入れたり、
室内でもリードで係留しましょう。



散歩のしたく中に興奮しすぎて…

落ち着くまでドアを開けない、
リードをつけていない時にはドアに近寄せない、
などしつけの問題も。



庭、ベランダに放していたら、いなくなった…

塀をよじ登ったり、地面を掘ったり、フェンスを破壊したり、
はたまた2階から飛び降りたり！

…犬の智恵と能力は、時に想像を超えます。
フリーにする時は十分に確認してからにしましょう。

パニックになった！

突然の雷や花火に驚いて…
夏にとっても多くなる原因です。

パニックになった犬は、
思いもよらぬ行動と、信じられないほどの力で
逃げ出そうとします。



散歩中・外出中

リード無しの散歩・・・

迷子を心配する以前の
マナーの問題です。



ちょっとした間

お店の前につないでいたら、
いなくなった・・・

連れ去られたり、イタズラで放されたり
暴行されたり、もあります。



風の強い日、
バイクのカバーや
シャッターが揺れた音に驚いて・・・

特に恐がりな子は、
ダブルリードにして、
1本は腰につなげるなどの対策も。



車のドアを開けたら
飛び出した・・・

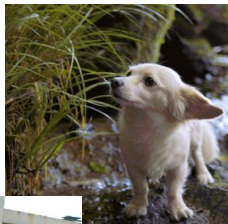
ドアを開ける前には
飛び出せないか確認する
習慣をつけましょう。

旅行中

普段の散歩コースと違い、土地勘のない場所では、
より注意が必要です。

犬も目新しいものに興味津々になったり、
逆に慣れない環境に不安になれば、
いつもと違う行動を取るかもしれません。
自然の中なら、見知らぬ動物の臭いや気配にも
興奮しがちです。

迷子札には、**宿泊先の連絡先を追加したり、
服を着せて目立たせたり**の『保険』も有効です。
また万一迷子になった時にすぐ探せるように、
旅先での写真も撮っておきましょう。



事故・災害

散歩中に飼い主が接触事故に巻き込まれた！
車に乗っていて交通事故！車外に放り出されて・・・
そして地震などの自然災害で、離れ離れに・・・
防げないからこそ、せめて戻りやすくなるように迷子札を。

